

令和7年度第1回多摩市総合教育会議 要点記録

- 1 日時：令和7年7月28日（月）午前10時から正午
- 2 場所：多摩市役所3階 特別会議室
- 3 出席者

出席委員（6名）

市長	阿 部 裕 行
教育長	千 葉 正 法
委員	岩 佐 玲 子
委員	原 島 久 男
委員	小 林 昭 一
委員	中 馬 幸 代

出席職員（8名）

企画政策部長	鈴 木 誠
くらしと文化部長	古 谷 真 美
教育部長	小野澤 史
教育部参事・教育指導課長事務取扱	山 本 勝 敏
企画課長	小 形 雄一郎
スポーツ振興課長	小 泉 瑞 穂
教育振興課長	城 所 学
教育指導課統括指導主事	池 田 豊 一

1 開会

阿 部 市 長 はじめに、教員グループによる盗撮画像共有事件の公判が名古屋で始まったが、この事件を受けて文部科学大臣も怒りをあらわにしていた。全国の保護者の不安や、現場の教職員への影響も懸念される。こうした中では、市と教育委員会が連携し、適切に対応していくことが重要だと考えている。本件については「次第3その他」で取り上げる予定である。

令和7年度第1回多摩市総合教育会議を開始する。

令和7年7月1日付で、新たに中馬委員が教育委員に就任された。

2 報告事項

(1) 部活動の地域連携・地域移行（地域展開）について

阿 部 市 長 それでは本日の議題に入る。報告事項1件目「部活動の地域連携・地域移行（地域展開）について」について、教育部・くらしと文化部より説明をお願いします。

池田教育指導課
統括指導主事

資料1-1「部活動の地域連携・地域移行（地域展開）における改革推進期間（R5～R7）の取組と今後の方向性」、資料1-2「学校部活動 News Letter Vol. 1」に基づき説明

小泉スポーツ
振興課長

資料1-3「部活動の地域クラブへの移行（地域展開）に関する取り組み状況報告」に基づき説明
--

阿 部 市 長 それでは質疑に移る。このことについて、意見、質問等はあるか。

小 林 委 員 少人数のためチームを組めない野球部は、複数校で合同チームを組むことについて顧問の間で具体的な話が進んでいる状況と聞いている。
ハンドボール部は、地域のクラブと合同で練習を行っており、教員も一緒に指導している状況である。
バスケットボール部は、地域のクラブで全体の合同練習を行うことは難しいため、クラスを選別して行うことを検討している状況である。
このような状況について、把握しているか。

小泉スポーツ
振興課長 地域の動きについては把握している。現在、市内の競技団体がどのような要望や意見があるのか、意見交換を進めている状況である。

阿 部 市 長 部活動を地域移行していくことについて、「知っている」と答えた中学生は18.4%という結果であった。
また学校の部活動に取り組む生徒や、地域のクラブ活動を中心とする生徒

など様々な生徒がいる中で、生徒会ではどのような意見交換がなされているのか。

池田教育指導課
統括指導主事

生徒間において部活動の地域移行の意見交換はされているが、地域移行について知っている生徒が少ないことが課題であるため、周知を進め、生徒の理解を深めていくことが重要であると考えている。

阿部市長

昔は生徒会が自主的に体育祭などイベントの運営や、課題の検討などを行っていた。生徒会などで取り上げている課題で、教員が知らない課題などもあるのか。

山本教育部参事・
教育指導課長事務取扱

生徒会で部活動の運営について話し合いをしているかどうかについて、教育委員会では把握はしていない。

部活動の地域連携・地域移行については普及啓発を進めていくことによって、部活動の今後の在り方について生徒が話し合う機会を作り、その内容を踏まえて多摩市の実態にあった地域連携・地域移行を進めていくことが重要と考えている。

阿部市長

生徒自身も部活動の地域移行について意見があると思っている。当事者である生徒自身が今後について考え、生徒会などで意見を集約し、その意見を吸い上げて対応していくことが重要であると感じている。

小林委員

今は春の大会が終わり、3年生が引退してチームを組めない学校がある。そのような学校の生徒を秋の大会に向けて地域のクラブで受け入れることや、地域のクラブの指導員を学校に派遣することで、地域移行の周知も進むのではないかと。

小泉スポーツ
振興課長

地域移行の試行について、10月以降の実施に向けて調整を進めている。

頂いた意見を踏まえて、実施に向けた検討を進めていきたい。

現在実施している活動に参加するような方法も、地域のクラブから提案いただいている。

生徒にとって、文化においてもスポーツにおいても実りのある活動ができるよう調整を進めていく。

阿部市長

全国市長会においても、部活動の地域移行について取り上げる予定となっている。地域移行を進めていくためには財源が必要であり、財源の確保を保証していただきたいということは国に対して伝えていく。

(2) 市立小学校の環境整備について

城所教育振興課長

資料2-1「市立小学校の環境整備について」資料2-2「遮熱シート試験施工」に基づき説明

- 小林 委員 暑さが原因で体育の授業に支障が出ている状況であり、早急に全ての学校で進めるべきだと考えている。
- また、校舎の1階と3階でも室温に差があり、特に上層階が暑いいため、全ては難しくとも、一部天井に断熱材を設置することはできないか。
- 阿部 市長 今回に関しては、小学校体育館への対応を最優先課題として進めている状況。永山小学校の体育館の天井に遮熱シートを設置したことによって、ある程度の効果を得られた。まずはこのような環境整備は早急に進めていく必要があり、その上で小林委員がおっしゃった内容についても検討していく。
- 岩佐 委員 遮熱シートを、体育館の天井に貼り付ける作業が3日間なのであれば、計画的に行えば全ての校舎で実施するのは可能なのではないか。費用はどのくらいかかるのか。
- 城所教育振興課長 1校あたり600万円程度であった。現在は物価高の影響でもう少し高騰している。
- 岩佐 委員 補助金などを活用して、計画的に実施していただきたい。
- 中馬 委員 中学校でも、同じ作業をする予定はあるか。
- 城所教育振興課長 まず小学校の体育館を整備する計画としている。それ以降については小学校の校舎を整備するのか、中学校の整備をするのか、検討して一つ一つ解決していきたい。
- 阿部 市長 小学校体育館の空調はできるだけ早く実施する必要があると考えている。子どもたちが安心して過ごせるよう、引き続き実施に向けた検討を進めていただきたい。
- 小林 委員 学校の中でどこが一番暑いのかなど生徒自身が測定し、体感できるような取組をしている学校もある。シェードを張ることで温度が下がることを体験し、シェードを各クラスで貼りたい、というような意見も子どもたちから出てきている。大変面白い取組みなので、ぜひ共有していただきたい。

(3) 多摩市立学校の働き方改革推進プランについて

- 山本教育部参事・
教育指導課長事務取扱 資料3「令和7年度版 多摩市立学校 学校における働き方改革推進プラン」に基づき説明
- 阿部 市長 データで確認すると、副校長以外の時間外在校時間は減少しているが、データで見える内容以外の負担も多いのではないか。
- 山本教育部参事・ 家庭に持ち帰って教材研究を行うことや、緊急時に保護者の対応をするこ

教育指導課長事務取扱 となどについては含まれていない。見えていない部分を含めて、教員個人に任せるのではなく、職場環境を整えることが大事だと考えている。

阿 部 市 長 授業だけではない様々な業務がある環境で、教員も時間外が忙しくなっている状況にある。教員が子どもたちに割ける時間を増やしていくことが、今回の働き方改革の大事な視点かと思うので、財政的にも限られた状況だが全国市長会で要望するなどして、市としてもしっかり対応していきたい。

3 その他

阿 部 市 長 教員グループによる盗撮画像共有事件について、大変衝撃を受けた。この事件を受けて文部科学大臣も怒りをあらわにしていたが、本件に関わらず公務員や企業、一般市民も含めて、様々なところでこのような事件が起きている。特に保護者の不安や、現場の教職員への影響も懸念されるため、市と教育委員会が連携し、適切に対応していくことが重要だと考えている。ついては教育長から、国・都の動きや多摩市教育委員会としての対応について説明をお願いします。

教 育 長 文部科学省の初等中等教育局長が7月1日付で「児童生徒性暴力の防止等に関する教師の服務規律の確保の徹底について」という通知を発出している。これを受けて東京都教育庁は7月2日付で同趣旨の通知が発出された。
多摩市教育委員会としては、7月4日付で児童生徒性暴力等の防止に関する通知を各学校へ通知した。また多摩市独自のものとして、各学校で活用していただけるよう、24項目の自己点検チェックリストを作成した。各学校では7月18日までに全校で研修を行い、全ての教員がチェックリストの確認を行った。
また各学校においては、この事件に類似した案件は発生していないことを確認しており、結果について東京都多摩教育事務所長への報告を行った。二学期以降も服務規律の徹底を図っていき、児童、保護者が不安なく学校行事にも参加できるよう、努めたい。

阿 部 市 長 悪質性の高い事件であり、児童や保護者が負った傷は相当なものだと考える。教員だけではなく、子どもたちもSNSでグループを作り、本人が気づかないところで他者を傷つけることがある。メディアリテラシーを含めてサポートしていく時間を設けることが必要かと思う。

原 島 委 員 学校現場にいた際も、このような事件が発生しないように取り組んできた。実際にやった工夫としては、全教員分の服務用のフラットファイルを用意し、口頭で伝えることに加えて紙で印刷したものを渡し、保存場所ま

で指定した。そこまで具体的に指示して初めて伝わることもある。

阿 部 市 長 SNSの利用については、歯止めが利かない部分も多く正しい使い方を学んでいくことが必要である。社会をどのように変えていくか、大きな課題であると考えている。

岩 佐 委 員 チェックリストについて、オリジナルで作成したのがとてもよい。特に学校内外での問題がそれぞれ一覧になっているのがとても分かりやすい。氏名欄についてはどのように活用しているのか。

山本教育部参事・
教育指導課長事務取扱 学校で行う服従防止研修でチェックリストを実施し、回収して氏名を確認し、全教員が実施したかの確認を行っている。

岩 佐 委 員 昔と比べて、子どもたちも人権意識が高まってきており、おかしいと感じたら誰かに相談するようになっているなど、時代とともに変化しているように感じる。性暴力だけではなく様々な問題を改めて確認する際に、このチェックリストは重要な意味を持つと感じている。

非公開会議の実施

4 閉会

阿 部 市 長 その他質問もないことより閉会とする。

以上